

背景・目的

本学の音楽科では、専攻領域がかなり限定的であるが、音楽活動の幅を広げ、現代多様化してきているニーズに対応すべく、多彩な編成によるアンサンブルを体験させる。

実施内容

様々なアンサンブル形態による学習成果を、毎年定期的に行われる「音楽科コンサート」、「オーケストラ・ドゥ・シャンブルコンサート」を中心に、「木曜・火曜コンサート」、「オープンキャンパスにおけるミニコンサート」などで、発表してきた。弦、管楽器の専攻生は少数なため、必要に応じて、副科楽器の履修者、経験者もアンサンブルに参加させている。以下、主な実施内容を記載する。

① 7月27日(土) オープンキャンパス

礼拝堂におけるミニコンサートではオーケストラ、学科発表では2台ピアノ、二重唱など。



礼拝堂でのミニコンサート

② 11月4日(日) 音楽科コンサート2013

宮城学院女子大学講堂において開催。リストのピアノ協奏曲第1番、モーツァルトのオペラアリアをオーケストラと共演。そして、室内楽では弦楽四重奏などのアンサンブル等の演奏。



音楽科コンサート

リスト作曲ピアノ協奏曲第1番

③ 2月9日(日) 第6回 オーケストラ・ドゥ・シャンブルコンサート

ハイドンのシンフォニア No.15 とヘンデルの「メサイア」(抜粋)を演奏。「メサイア」ではオーケストラと有志参加者による合唱との共演。

その他、「木曜・火曜コンサート」では、2台ピアノ、フルート、声楽アンサンブル、そして作曲法履修者による創作女声合唱による発表などがあった。

結果及び考察

2013年度は、音楽科実技系教員全員がこの教育推進研究に参画したためか、例年より室内楽、オーケストラ、オーケストラとソリスト、合唱との共演といった様々なプログラムが、年間を通して演奏されることが増加した。

近年、音楽関係の企業へ就職する際、ピアノだけでなく、管弦楽器のアンサンブル経験を面接の際に尋ねられることがあるそうだが、そういった場合にも、上記のような経験は重要であり、さらに様々な編成の楽曲を体験させる教育プログラムを検討してゆくべきである。